

地区名	大島町
研究主題	地域の自然に親しみ、自ら自然のきまりを探究する児童の育成。
<p>1 研究主題設定の理由</p> <p>文部科学省は、約10年ぶりに学習指導要領を全面改訂し、小学校では32年度から完全実施となる。今回の改訂では、これまでの知識偏重型から脱却し、思考力や表現力を主体的に育むアクティブラーニングを重視する方針である。それを受けて児童一人ひとりが自己の生き方を主体的に考え、変化に対し柔軟に対応していく力を育てていくことが急務である。とりわけ、理科教育においては、児童が知的好奇心や探求心をもって、自然に親しみ、目的意識をもって観察、実験を行うことにより、科学的に調べる能力や態度の育成、科学的な見方や考え方を養うことが求められている。</p> <p>2 研究の重点</p> <p>①「自然事象への働きかけ」の場面</p> <p>自然事象への働きかけの場面では、教師の意図的な教材の準備や場の設定が必要不可欠なものとなる。そこで、意図をもった事象提示の工夫について研究をすすめていく。これまでの経験や知識と結びつけたり、問題意識をもたせ、気づきや疑問をもてるような実験や場の設定を設ける。</p> <p>②「問題把握・設定」の場面</p> <p>問題の把握・設定の場面では、児童・生徒に事象を比較させ、違いや共通点から認知的葛藤を喚起し、そこで生まれる気づきや疑問を整理して課題へと高める研究をすすめていく。</p> <p>3 主な活動</p> <p>4月19日(水) ○授業者決定 ○年間計画 ○授業計画と役割分担</p> <p>5月31日(水) ○研究授業</p> <p>中学校第3学年理科「化学変化とイオン」 授業者：大島町立第二中学校 小嶋 直 教諭</p> <p>10月11日(水) ○地学学習（ジオパーク三原山でのフィールドワーク）</p> <p>11月29日(水) ○実践事例研修</p> <p>講師：東京理科大学 曾田良三先生 テーマ：実践的な理科実験研修</p> <p>1月24日(水) ○研究のまとめ</p> <p>文責 学校名 大島町立つつじ小学校 職名 主幹教諭 氏名 大根田 和典</p>	